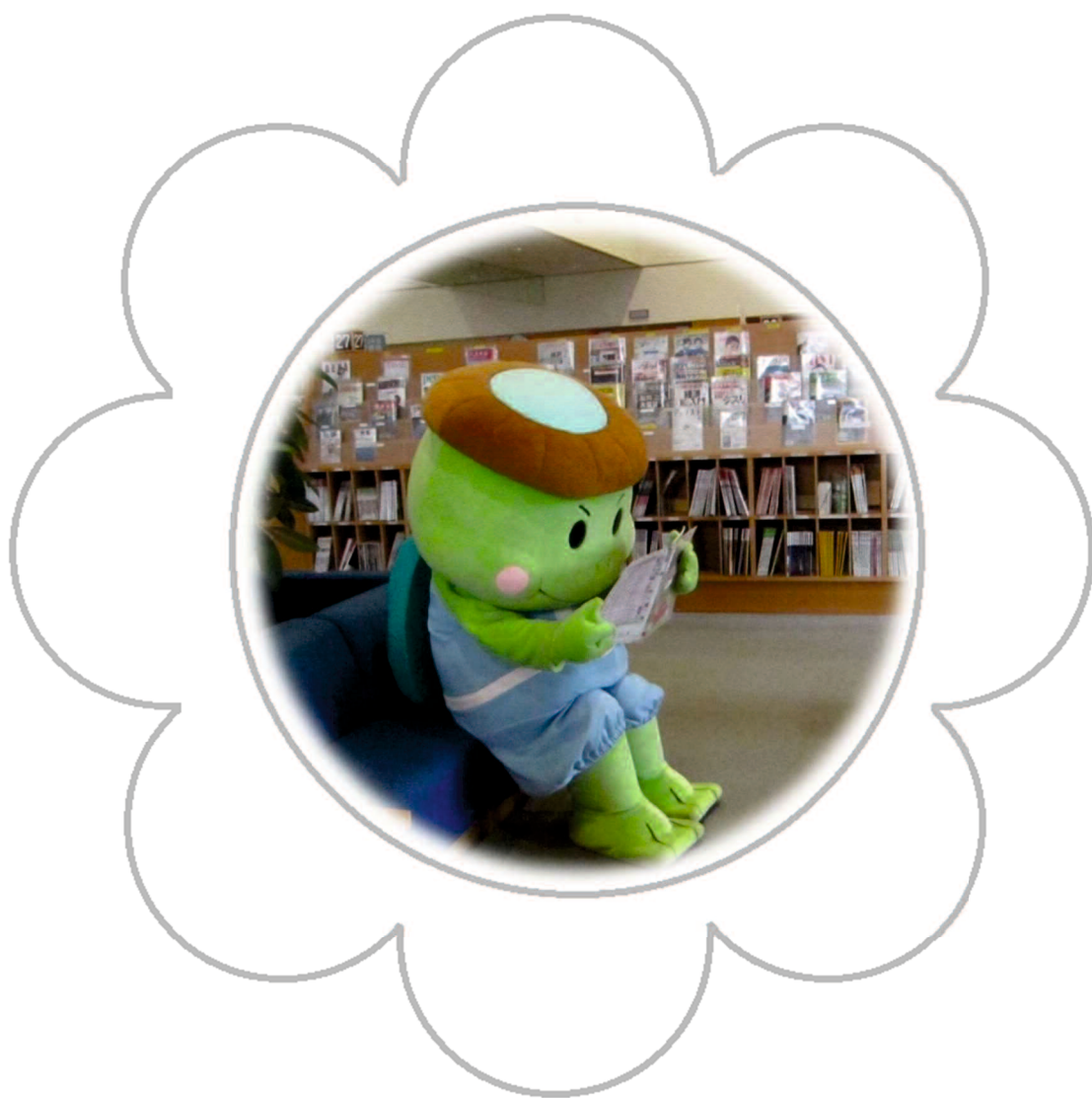


福崎町子どもの読書活動推進計画（第2次）

生きる力 フクラみサキます 読書から



令和5年3月

目 次

第1章 第2次計画策定にあたって

- 1 子どもの読書活動の意義-----1
- 2 計画策定の背景-----1
- 3 児童・生徒の読書活動の現状-----2

第2章 当初計画における取組状況

- 1 家庭における取組状況-----3
- 2 学校・園等における取組状況-----3
 - (1) 幼稚園・こども園における取組状況 -----3
 - (2) 小・中学校及び高等学校における取組状況 -----4
- 3 町立図書館における取組状況-----4
- 4 図書館応援隊による取組状況-----5
- 5 子どもの読書活動の啓発・広報の状況-----6

第3章 第2次計画の基本的な考え方

- 1 計画策定の目的-----7
- 2 計画の目標設定にあたって-----7
- 3 計画の対象-----8
- 4 計画の期間-----8
- 5 具体的数値目標-----8

第4章 推進のための取組

- 1 家庭における推進----- 10
- 2 学校・園等における推進----- 12
 - (1) 幼稚園・こども園における推進 ----- 12
 - (2) 小・中学校及び高等学校における推進 ----- 13
- 3 町立図書館における推進----- 15
- 4 図書館応援隊による推進----- 16
- 5 子どもの読書活動の啓発・広報----- 18

参考資料

- (1) 福崎町子どもの読書活動推進計画（第2次）策定委員会設置要綱
- (2) 福崎町子どもの読書活動推進計画（第2次）策定委員会名簿
- (3) 実態調査アンケート結果

第1章 第2次計画の策定にあたって

1 子どもの読書活動の意義

子どもにとって読書は、言葉を学び、感性を磨き、思考力や表現力を高め、創造力を豊かにし、人生をより深く生きるための力を身につけていく上でとても大切なものです。子どもは、本を読むことで、様々な知識を得たり、物事を深く考えたりすることができるようになり、その中で自分自身の考えや経験、感情などをあてはめ、より広い世界を知り、より深く自分を見つめることを可能にします。

子どもは、読書を通して、将来への夢を持ち、自己実現を図ることができるようになります。また、言葉を学び、文章から作者の意図を読み取り、さらに表現できるようになることで言語能力と表現力を高めることができます。そして、インターネット等の情報通信手段が普及している現代では、子どもたちにもそれらが身近な存在となっており、これまで紙の「本」を読んでいた読書に加え、「電子書籍」での読書を楽しむことで、情報リテラシー¹を身につけ、情報の取捨選択を的確に行えるようになり、有用な情報を活用できるようになることが期待されます。

このように、子どもが成長していく上で、読書はとても大切なもので、年齢等それぞれの子どもの状況にあった読書支援を行っていく必要があります。そのためには、子どもに読書の楽しさを伝え、子どもと本を結びつける「人」の存在が重要で、子どもを取り巻く大人が組織的に子どもの読書環境を整備する必要があります。

そのため、この計画では乳幼児から中学生までを中心とし、子どもを取り巻く大人への推進も必要不可欠であることから、全町民を対象に取り組むこととします。

2 計画策定の背景

現代の私たちの生活において、テレビやスマートフォン等様々な情報通信手段に容易にアクセスできるようになっています。

テレビ等の映像は、見る人を楽しませることができですが、時には見る人の想像力を弱めてしまうおそれがあり、子どもの読書離れ、活字離れに影響を与えられれます。

この問題に対し、国は平成13年に「子どもの読書活動の推進に関する法律」を制定し、「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（現在は第4次）」を推進しています。

これを受け、兵庫県では平成16年に「ひょうご子どもの読書活動推進計画」を策

¹ 情報を適切に判断し、情報を通して決定を下す能力

定し、令和2年から第4次計画により子どもの読書活動を推進する取組が進められています。

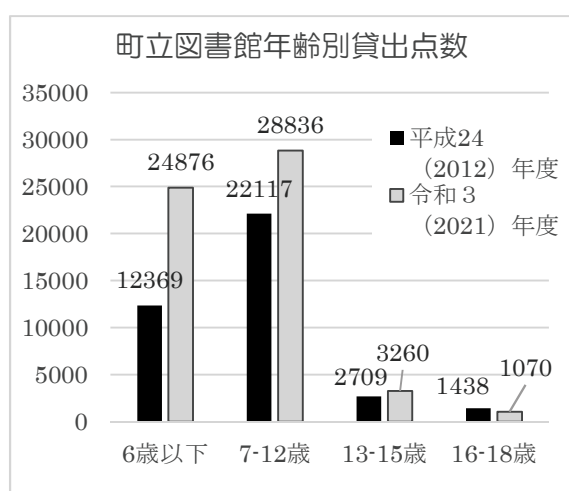
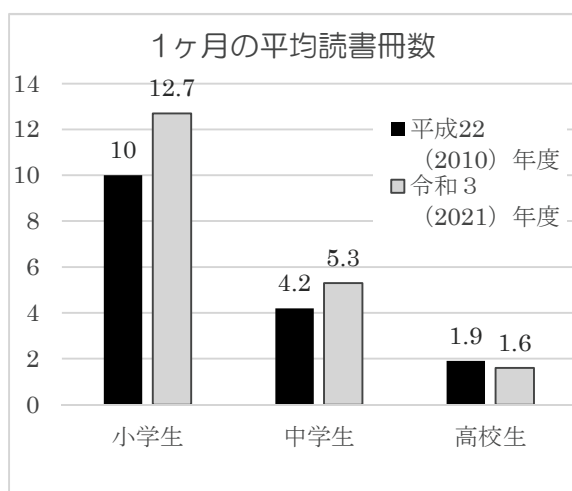
福崎町では、これらの国や県の計画を基本として、福崎町第4次総合計画と整合性を測りながら、平成25年度に「福崎町子どもの読書活動推進計画」を策定し、計画に沿って読書活動の推進に取り組んできました。令和4年度の計画期間満了に伴い、この度、第2次計画を策定することといたしました。

3 児童・生徒の読書活動の現状

令和3年6月に全国学校図書館協議会と毎日新聞社が共同で実施している「第66回学校読書調査」によると、児童生徒の1カ月の平均読書冊数は、小学生は12.7冊、中学生は5.3冊、高校生は1.6冊でした。前回の計画策定時に参考にした平成22年度実施の同調査の結果は、小学生10.0冊、中学生4.2冊、高校生1.9冊で、小学生、中学生は増加傾向にあり、高校生は減少傾向がみられます。

町立図書館の年齢別貸出点数をみても、計画前の平成24年度に比べ、令和3年度は6歳以下、7-12歳（小学生）、13-15歳（中学生）は増加していますが、16-18歳（高校生）は減少しています。

「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」（平成30年4月施行）においても、主な課題のひとつとして、「小中学生の不読率は中長期的には改善傾向にあるが、高校生の不読率は依然として高い」ことが挙げられています。その要因として、①中学生までの読書習慣の形成が不十分、②高校生になり読書の関心度合いの低下、③スマートフォンの普及などによる子供の読書環境への影響の可能性があるとして分析されています。それを踏まえ、①読書習慣の形成に向けた発達段階ごとの効果的な取組を推進、②友人同士で本を薦め合うなど、読書への関心を高める取組を充実、③情報環境の変化が子供の読書環境に与える影響に関する実態把握・分析を計画のポイントとしています。



第2章 当初計画における取組状況

平成 25 年度制定の「福崎町子どもの読書活動推進計画」（当初計画）では、「子どもたちに読書の楽しさと大切さを伝える」、「子どもがいつでも自主的に読書ができるよう環境を整備する」、「保護者に読書活動の意義と重要性の理解を深め、子どもの読書活動推進に協力してもらえよう啓発に努める」、「幼稚（児）園・保育所での本との出会いづくりや、学校図書室の活性化と有効利用に取り組む」、「司書やボランティアが学校や保護者への正しい読書指導が行えるよう、知識・情報・技術の向上に努める」の5つを基本目標とし、家庭、学校・園等、町立図書館、図書館応援隊という四方向からの取り組みを進めてきました。

1 家庭における取組状況

子どもが読書習慣を身につけられるかどうかは、小学校入学前に家族に本を読んでもらった経験と読書量とに相関関係があるという読書調査の結果から、読み聞かせの重要性の理解を深め、家庭での読み聞かせや読書の時間をとってもらえよう、町立図書館で絵本読み聞かせ講座を始め、講演会や講座を実施しました。

また、ブックスタート事業として、7カ月育児相談の際に絵本の引換券や図書館案内、おすすめ本リスト等を渡し、読書の大切さを伝えてきました。ブックスタート事業では、これまで絵本を育児相談の場で手渡していましたが、図書館利用申込書とともに絵本の引換券を渡すように変更することで町立図書館来館のきっかけづくりを行いました。

講座や講演会には、多数の保護者に参加いただきましたが、そういった講座や講演会に興味を示して実際に参加される保護者は、参加する前から読み聞かせや読書の重要性を理解し、実際に家庭での読み聞かせをされていることが多いと考えられます。

しかし、そういった講座や講演会に参加されない保護者にどのように読み聞かせや読書の大切さを伝えていくかが引き続き課題となっています。

2 学校・園等における取組状況

(1) (前回計画時保育所・幼稚園・幼児園) 幼児園・こども園における取組状況

各幼児園・こども園では、月刊絵本を1歳以上の全員が購入しており、毎日読み聞かせを繰り返して行うことで、本に親しむ環境づくりに努めています。

また、月刊絵本を家に持ち帰ることや、多くの園で実施している本の貸出しが、家庭での読み聞かせのきっかけとなっています。

(2) 小・中学校及び高等学校における取組状況

町内小・中学校においては、国語科を中心に、調べ学習等多様な読書活動を行っています。

また、町内のほとんどの小・中学校で、「朝の読書」を実施しており、子どもたちが本に触れる時間を持ち、そこから興味のある本を見つけていくことで、読書習慣を身につけるきっかけとなっています。

今回の計画策定の際に実施した「読書に関するアンケート」では、小学校中学年以上には「1週間に何回くらい学校の図書室に行きますか。」という質問を設けましたが、行かないと回答したのは、小学校中学年で7.4%（25p小学校中学年⑤参照）、小学校高学年で15.9%（27p小学校高学年⑥参照）と、各小学校で昼休みや放課後等にかけている図書室を多くの児童が利用していることがわかります。しかし、中学生になると、84.2%が行かないと回答しており（28p中学生⑥参照）、両中学校ともに昼休みに図書室を開けて利用できる環境は整っているけれど、利用につながっていないという結果となりました。

各学校では、図書委員を中心に図書室利用推進の工夫をされており、今後も引き続き利用につながるアイデアを考え、よい方法は学校間で情報共有できる仕組みを作っていく必要があります。

3 町立図書館における取組状況

町立図書館では、春休み、夏休み、冬休みといった学校の長期休業期間を中心に、子ども向け行事を多数実施することで、町立図書館に来館するきっかけづくりを行いました。フクちゃん読書の日・サキちゃん読書の日啓発を兼ねて行っている図書館マイスター講座は、図書館の書架にはどのような順番で本が並べられているかを学び、図書館の中にはどんな部屋があるか探検する等して図書館に詳しい図書館マイスターになることで、より図書館を身近に感じてもらうために毎年実施しています。

保護者等に向けては、ストーリーテリング講座と絵本読み聞かせ講座を順番に行うことで、読み聞かせの重要性や絵本の選び方等を知ってもらう場を設けました。

また、7か月育児相談時のブックスタート事業を継続して実施し、小さいころから本に親しむことの大切さを伝え、図書館の利用や図書館行事の案内をすることで積極的に町立図書館を利用して家庭での読み聞かせのきっかけとなるよう働きかけました。

以前から設置していた子どもたちがおもしろかった本を他の子どもたちと共有できる「ぼく・わたしのおすすめのいっさつ」コーナーを館内のより目につきやすい場所に移動し、子どもたちがもっと色々おすすめ本を紹介したいと感じられるように設置する記入用のペンや掲示等を工夫したことで、より多くのおすすめ本が紹介できるようになりました。

以前から大きな課題となっている YA(ヤングアダルト)世代²への読書推進については、館内に新たにヤングアダルトコーナーを設置し、これまで配架場所が異なっていたヤングアダルト向けの本を一か所に集めることで、読みたい本が見つかりやすい、利用しやすい書架作りに努めました。また、ライトノベルズ等、時間がない中でも読書を楽しむことができ、ヤングアダルトが好んで手に取る本を積極的に購入することで、少しでも読書に興味を示してもらえるように努めました。

4 図書館応援隊による取組状況

図書館応援隊は、活動グループごとに読書推進に取り組みました。

① えほんのじかん

毎月第1水曜日に、町立図書館おはなしのへやで「えほんのじかん」を開催しています。また、町内の学校・園を訪問し、えほんの読み聞かせを行っています。

わらべうたやえほんを楽しむことで言葉への入口を作ります。また、保護者や祖父母と一緒に参加してもらうことで、絵本の楽しみ方、小さいころからの家庭での読み聞かせの大切さを伝えています。

② おはなしのとびら

毎月第3土曜日に、町立図書館おはなしのへやで「おはなし会」を開催しています。また、町内の学校・園を訪問し、「おはなし会」を実施しています。

ストーリーテリングや絵本の読み聞かせ等、言葉を聞くことによって想像する力を養っています。また、子どもが自分からは手に取らないような本を読み聞かせることでいろいろな本と出会うきっかけづくりをしています。

③ 布絵本グループ

子どもたちに本・図書館の楽しさを伝えるため、手作り布絵本や館内の飾りつけを充実させています。

館内のタペストリー等は、来館する子どもたちにとって町立図書館が楽しい場所であると感じられ、また、それらを通して季節を感じ、行事を楽しむことができる仕掛けとなっています。

④ かたりべグループ

図書館行事等や町内の学校を訪問して、語りを通して子どもたちに考え方、生き方を伝えています。また、福崎町に伝わる昔話を通して自分の町に興味を持たせ、調べ学習につなげています。

² 「若い大人」世代のことで、大人になりつつあるおおむね 13 歳から 19 歳の人

⑤ 紙芝居グループ

図書館行事等や町内の学校を訪問して、福崎町に伝わる民話等を子どもたちにもわかりやすく紙芝居で表現し、発表しています。自分の町の民話に興味を持ち、もっと詳しく知りたいという探求心を育てています。

5 子どもの読書活動の啓発・広報の状況

当初計画では、毎月29日をフクちゃん読書の日、毎年3月9日をサキちゃん読書の日と設定し、学校だよりや園だよりを通して読書の日々の啓発、またそれらの日に合わせて行事を実施することで、読書活動の推進に努めました。

隔月で発行し、図書館イベントの紹介や図書の紹介等を行っている図書館だより「ライブラリー」を区長文書で回覧することにより、図書館利用者だけでなく、まだ利用したことがない人にも町立図書館の情報を届け、図書館に興味を持ってもらえるようにしています。

新小学1年生には、「読書ノート」を配布し、読書の大切さやおすすめ本の紹介をしています。「読書ノート」には、多読賞のページを設け、町立図書館での貸出冊数に応じてスタンプを押印し、学年ごとに到達冊数を決め、多読賞記念品を渡すことで楽しみながら色々な本に出会うことができる仕掛けを作っています。

また、「読書ノート」とともに保護者向けに読書推進のチラシも配布し、保護者にも読書の大切さを伝え、家庭で読書の時間を作っていただくようお願いしています。

第3章 第2次計画の基本的な考え方

1 計画策定の目的

本計画は、当初計画から引き続き、福崎町の子どもたちが、本に親しみ、読書を通じて豊かな感性と考える力を育み、子どもたちがいつでも、自由かつ意欲的に読書に親しむことができる諸条件を整備していくことを目的とします。

2 計画の目標設定にあたって

福崎町では、上記の目的を達成するため、平成25年に福崎町子どもの読書活動推進計画を策定し、小学校低学年は「読書好き」増、小学校中学年以上は①1か月の「不読者」率の減、②1か月の「読書冊数」増、高校生は「貸出冊数」増を目標に掲げ、読書活動の推進に取り組んできました。

今回計画（第2次）の策定にあたり、再度、町内小・中学校、福崎高等学校、また、町内幼児園・こども園に通う園児の保護者を対象に、当初計画策定時と同内容のアンケートを実施しました。その結果、小学校低学年の目標である「読書好き」（31p グラフ1参照）は、当初計画策定時から2.6%増加していました。また、小学校中学年以上の目標①1か月の「不読者」率の減（31p グラフ2参照）については、小学校中学年は当初計画策定時から4%減り、小学校高学年及び中学生は増加、高校生は、9.6%減少していました。高校生の目標である「貸出冊数」増については、当初計画策定時（平成23年度）2,220冊から令和3年度1,070冊に減少しています。改善している項目もありますが、高校生の登録率増（平成23年度89.1%、令和3年度98.7%）以外は、具体的数値目標を達成できませんでした。（当初は、高校生の全登録者数/人口で割合を求めていましたが、登録はあっても転出等により有効ではない利用者数も入っているため、今回から有効登録者数/人口で割合を求めています。）

具体的数値目標達成のためには、もっとも基本となる「読書好き」の割合を上げていく必要があると考えられます。読書に対して肯定的な考えが持てなければ進んで読書をするようにはならず、学年が上がるごとに不読率の増加につながります。

「PISA2018（OECD生徒の学習到達度調査2018年調査）」では、読書を肯定的にとらえる生徒や本を読む頻度が高い生徒の方が読解力の得点が高い、中でも、フィクション、ノンフィクション、新聞をよく読む生徒の読解力の得点が高いと指摘しています。また、「子供の読書活動に関する現状と論点（文部科学省）」では、読書をする人が多い子供ほどコミュニケーションスキルや礼儀・マナースキルが高い傾向にあるとしています。

これらをもとに、本計画では、読書を肯定的にとらえ（「読書好き」増）、読書をする子どもを増やすこと（「不読率」減）を目標に設定します。

目標 「読書好き」な子どもを増やし、

子どものより豊かな感性と生きる力をはぐくみます。

3 計画の対象

対象は、乳幼児から中学生を中心に、おおむね 18 歳以下の者とします。また、子どもへの読書推進には、子どもを取り巻く大人（保護者・学校園・地域・図書館等）への推進も必要不可欠であるため、各取組は、全町民を対象に行っていきます。

4 計画の期間

この計画の期間は、令和 5（2023）年度から令和 14（2032）年度までの 10 年間とします。

5 具体的数値目標

○読書（本を読むのが）好き

	令和4年度実績		令和 14 年度目標
小学校低学年	89.8%		95%
小学校中学年	85.9%		90%
小学校高学年	79.6%		85%
中学生	68.9%		75%
高校生	68.4%		75%

読書好きの割合は、小学校中学年から高学年に上がる段階で 80%を下回り、小学校高学年から中学生に上がる段階で大きく下がっています。

「子供の読書活動の推進に関する有識者会議論点まとめ（文部科学省）」中に、小学校中学年になると最後まで本を読みとおすことができる子供とそうでない子供の違い

が現れ始める。高学年では、好みの本の傾向が現れるとともに読書の幅が広がり始める一方で、この段階で発達がとどまったり、読書の幅が広がらなくなったりする者が出てくる場合がある、と指摘しています。このことから、本計画では小学校中学年の時期に焦点を当て、高学年になった際に読書の幅が広がるよう対策をしていきます。

○1 か月の不読率

	令和4年度実績		令和14年度目標	
小学校中学年	3.8%	➔	小学校中学年	3%以下
小学校高学年	5.9%		小学校高学年	5%以下
中学生	11.6%		中学生	10%以下
高校生	36.2%		高校生	30%以下

中学生になると、部活や勉強等に費やす時間が増え、読書の時間を確保することが難しくなってきます。そのため、それまでに身につけていた読書習慣が途切れてしまうことがあります。読書好きを増やすことで、携帯電話やインターネット、ゲームをして過ごしている時間を読書に回せるよう、読書の楽しさを伝える取組をします。

第4章 推進のための取組

「子供の読書活動推進に関する有識者会議論点まとめ」中で、読書習慣の形成に向けた、発達段階ごとの効果的な取組として、

乳幼児期：絵本や物語を読んでもらい、興味を示すようになる 等

小学生期：多くの本を読んだり読書の幅を広げたりする読書 等

中学生期：内容に共感したり将来を考えたりする読書 等

高校生期：知的興味に応じた幅広い読書 等

とし、これらの特徴を踏まえて、家庭、地域、学校等による連携した取組の推進が必要であると示されています。これを踏まえ、以下の家庭、学校、地域（図書館・図書館応援隊）における取組、また、それらが連携した取組を通じて読書活動の普及啓発を図ります。また読書に関するアンケートを、町内小中学生、福崎高校生、町内の幼稚園・こども園に通う園児の保護者を対象に実施することで、現状を把握し、読書好きを増やすために必要な取り組みにつなげます。

1 家庭における推進

【現状と課題】

子どもは、家庭での日常生活の中で読書に親しみ、物語等の主人公を通してさまざまな体験をすることができます。また、家庭において一冊の絵本を家族とともに楽しむことから読書習慣が身についていきます。

保護者も一緒になって読書を楽しみ、幼いころから読み聞かせに親しみ、読書を生活習慣の一つとすること、また、いつでも子どもが本を手にして楽しむことができる環境を作ることが家庭の大切な役割です。

今回、就学前の子どもを持つ保護者に行ったアンケートから、98.9%の方が子どもの読解力、想像力、表現力を育て、感性を磨くうえで読書は重要だと考えたと回答されています。（30p 就学前の子どもを持つ保護者①参照）しかし、実際に子どもに本の読み聞かせをよくすると回答された方は、28.6%（30p 就学前の子どもを持つ保護者④参照）と、重要性は理解していても読み聞かせができていない方が非常に多いことがわかりました。

また、子どもに本を読んでほしいとせがまれることがよくある・時々あると回答された方は、全体の84.7%（30p 就学前の子どもを持つ保護者⑥参照）と、子どもは読み聞かせが好きだということがわかります。

児童文学者の松居直さんは、絵本は「幼児に読ませる本ではなく、大人が読んであげる本」と言われています。字をおぼえて、絵本を自分で読めるようにするために使う教科書のようなものではなく、純粹に絵本を楽しむためには、子どもが好きな絵本を繰

り返し、繰り返し、子どもが信頼している大人が読み聞かせることで、喜びや楽しみを味わうことができ、自然と本、読書が好きになっていきます。

新型コロナウイルス感染拡大防止のために公表された新しい生活様式の定着により、家庭で過ごす時間が増えている中で、子どもが読み聞かせを楽しみ、日々の生活の一部として読み聞かせの時間を持ち続けられるようにすることが家庭における推進の課題です。

【家庭での主な取組】

○ブックスタート事業

保健センターで行う7か月児への育児相談（まんまクラブ）時に、保護者に読み聞かせの重要性を伝え、おすすめ絵本のリストや絵本の引換券を手渡す事業です。

絵本の引換の際に町立図書館に来館いただくことで、図書館利用につなげたり、まんまクラブの際に絵本の読み聞かせを行うことで読み聞かせの仕方や絵本の選び方を伝えることで、乳幼児期からの読み聞かせのきっかけを作ります。

これまで配布していた図書館利用案内、おすすめ絵本のリスト、絵本の引換券に加え、子どもにとって身近な大人による絵本の読み聞かせの重要性や読み聞かせが子どもに与えるよい影響について、読みやすくまとめたものを一緒に配布し、読み聞かせへの理解を深めます。

○家読（うちどく）の推進

家読（うちどく）とは、「家庭読書」の略で、「家族ふれあい読書」を意味し、「家族みんなで読書をすることで家族のコミュニケーションを深める」ことを目的にした読書活動です。

子どもを中心に家族みんなで同じ本を楽しむことで、読書が生活習慣の一つとなることを目指します。

町立図書館でも、館内に家読特集棚を設置したり、家読に関連づけたイベント（家読で使う本を借りるごとにスタンプを集めるスタンプラリー等）を実施することで、家読の推進に努めます。

○「フクちゃん読書の日」、「サキちゃん読書の日」の啓発

福崎町では、毎月29日を「フクちゃん読書の日」、3月9日を「サキちゃん読書の日」と設定しています。その日は「ノーゲーム・ノーテレビデー」として、家族で読書の時間を持つよう環境づくりをしていきます。これらの取組を広げていくため、家庭でのフクちゃん・サキちゃん読書の日取組を紹介する展示を行う等広報に努め、家庭でも「ノーゲーム・ノーテレビデー」に積極的に取り組んでもらえるよう呼びかけます。

○家庭での読み聞かせ支援

町立図書館では、毎月第1水曜日の「えほんのじかん」（0歳からの子どもと保護者を対象に絵本の読み聞かせや手遊びを行う）、毎月第3土曜日の「おはなし会」（4歳くらいから小学生を対象に絵本の読み聞かせやストーリーテリングを行う）を通して、おはなしや絵本の楽しさを伝え、家庭での読み聞かせにつなげています。

町立図書館で、絵本の読み聞かせ講座とストーリーテリング講座を継続して実施することで、読み聞かせの大切さ、また、読み聞かせに向く絵本の選び方等を覚えてもらい、家庭での読み聞かせにつなげていきます。

2 学校・園等における推進

（1）幼稚園・こども園・子育て支援施設における推進

【現状と課題】

ニュージーランドの図書館司書ドロシー・ホワイトは、『子どもの本について』の中で、「絵本は、子どもが最初に出会う本で、その子が絵本の中で見つけた楽しみの量によって、生涯本好きになるかどうかが決まる」と言っているように、乳幼児期に絵本に親しむ習慣をつくること、周りの大人たちが子どもに多くの絵本を手渡す（読み聞かせをする）ことが読書習慣の形成に大きく関わっているといえます。

各園では、月刊絵本を購入し、読み聞かせを行っています。また、購入した月刊絵本を家に持ち帰り、園で読み聞かせをしてもらった絵本を、家庭で再度読み聞かせしてもらうことで、経験の少ない子どもにとって既知のものとの再会の喜びを味わうことができ、絵本を読んでもらうことがますます楽しみになります。

各園・施設の絵本室等の本で不足する場合や、色々なジャンルの絵本の読み聞かせを行うには、町立図書館の団体貸出を積極的に活用する等、絵本の充実を図る必要があります。

【幼稚園・こども園・子育て支援施設での主な取組】

○子どもへの「読み聞かせ」の継続実施

読み聞かせの習慣をつけるため、家庭での読み聞かせに加えて、幼稚園・こども園・子育て支援施設での読み聞かせも継続して行うことで、子どもにとって絵本がより身近なもので楽しいものになります。また、町立図書館では、おすすめ本のリストの提供や、テーマごとのリストを提供することで、園や施設での読み聞かせを支援します。

○月刊絵本の購読

園での読み聞かせに加え、家庭での読み聞かせのきっかけとなるよう、月刊絵本の購読を引き続き実施します。

○「フクちゃん読書の日」、「サキちゃん読書の日」の啓発

園だより等を通して、毎月 29 日のフクちゃん読書の日、3月9日のサキちゃん読書の日には、「ノーゲーム・ノーテレビデー」とするように保護者に働きかけます。

○町立図書館の団体貸出の活用

園や施設での読み聞かせに町立図書館の団体貸出を活用し、より多く絵本を子どもに届けるよう努めます。

(2) 小・中学校および高等学校における推進

【現状と課題】

小学校低学年は、文字を覚え、身の回りの様々なことに関心が増える時期で、この時期に好きな本を自分で見つけ、たくさんの本を読む楽しさを覚えるようになります。

また、小学校高学年になると、自己肯定感を持ち始め、幅広い分野の本に触れることで視野を広げていくことができます。

中学生になると思春期に入って、自分の将来、生き方等を模索し始めます。読書活動を通して考えをまとめたり、問題解決をすることができるよう、より多くの本との出会いを支援していく必要があります。

また、学習指導要領の改訂（平成 29 年度告示）により、総則に「学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、児童（・生徒）の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に生かすとともに、児童（・生徒）の自主的、自発的な学習活動や読書活動を充実すること。また、地域の図書館や博物館、美術館、劇場、音楽堂等の施設の活用を積極的に図り、資料を活用した情報の収集や鑑賞等の学習活動を充実すること。」とあり、読書推進においても今後はこれらを視野に入れ、取り組む必要があります。

【小・中学校および高等学校での主な取組】

○「朝の読書」の実施、「家読（うちどく）」と「フクちゃん・サキちゃん読書の日」の啓発による読書習慣の定着

町内のほとんどの小・中学校で行っている「朝の読書」を町内全小・中学校での実施を目指し、日々読書の時間を持つことで、読書の習慣づけをします。

また、毎月 29 日の「フクちゃん読書の日」、3月9日の「サキちゃん読書の日」を児童・生徒に広く知ってもらい、児童生徒が自ら「今日は29日のフクちゃん読書の日だから読書をしよう」と意識してもらえるように学校だより等を通して広報していきます。

「家読（うちどく）」では、どのように行うか等も学校だより等を通して伝え、啓発していくことで家族揃って読書の時間を持つよう働きかけます。

○学校図書室と町立図書館の連携強化

町内小・中学校の図書室の本だけではなく、町立図書館の本を、団体貸出を利用し、より多くの本を児童・生徒に届けられるよう、町立図書館でテーマごとに本のリストを作成する等の仕組みづくりを行います。

また、現在行っている図書館見学の受入れや学校訪問おはなし会を継続して行い、絵本の読み聞かせやストーリーテリングにより、絵本の楽しさを伝え、ブックトークにより児童・生徒が自分からは手に取りにくい分野の本等も紹介することで、読書の幅を広げていきます。

また、学校訪問おはなし会等の時間を活用して、児童生徒が1人1台利用可能なタブレットを用いて、町立図書館の利用を促すため、町立図書館のホームページ上から見る事ができるwebOPAC³の利用方法を指導し、どのような本があるか自分で調べられるようにします。また、興味がある分野について、キーワード検索等を行えるようになれば、読んでみたいと思い、町立図書館への来館のきっかけとなり、また、読書意欲の向上につなげていくことができます。

○電子書籍利用についての指導

平成29年度に実施したアンケート調査時から中学生、高校生を対象に「電子書籍を使ったことがありますか。」という問いを増やしています。よく使う・たまに使うと回答した中学生は、前回と今回の回答で差異がありませんでしたが、高校生は、前回より20%以上増えています。

スマートフォン、タブレットの普及、電子書籍発行数の増加等により、電子書籍がより身近になっており、従来の紙の本に加え、電子書籍の利用も啓発していくことで、より多くの読書機会を得られるようになると考えられます。

○図書委員を中心に、児童・生徒による読書推進活動の推進

学校図書室に、児童・生徒の目線でおすすめの本の紹介をしたり、テーマを決めて特集棚を作ったりすることで、その世代で今流行しているものや興味が持たれるものを届けることができるようになり、紹介したり、特集棚を作ったりする児童・生徒も、それらを見て利用する児童・生徒も興味を示しやすくなり、より効率的に読書推進を図ることができると考えられます。

○新任職員研修などでの図書館実習

職員が町立図書館や学校図書室を有効活用できるよう、新任職員研修の社会体験研修時等に町立図書館で実習をします。実習を通して、図書館の利用方法や分類ごとに並んでいる書架のこと、図書を活用した調べ学習の仕方などを知ることができ、学校図書室を活用して授業を行ったり、図書館利用について児童・生徒への指導に役立て

³インターネットからアクセス・利用できるオンライン蔵書目録（OPAC:Online Public Access Catalog）

られるようになることが期待されます。

3 町立図書館における推進

【現状と課題】

町立図書館では、乳幼児向けにはブックスタート事業やえほんのじかん、幼児から小学生向けには、おはなし会や子ども映画会、図書館マイスター講座等を実施し、図書館の利用促進、読書活動の推進に取り組んでいます。

また、町立図書館をよく利用している子どもたちは「ぼく・わたしのおすすめのいっさつ」のコーナーを充実させることで、同年代の他の子がどのような本を読んでいるのかを知り、自分もそれを読んでみよう、また、自分がおもしろかった本をみんなに知らせようと思うことで、より一層の読書意欲の向上を図っています。

今後も継続しておすすめ本を募集、紹介、展示していくことで、紹介してくれた子どもたちに自分が図書館の書架づくりに関わっていると感じてもらい、これまで以上に積極的なおすすめ本紹介につなげていけるように展示等に工夫をしていく必要があります。

町立図書館をあまり利用しない子どもたちには、図書館おばけやしきや季節の工作教室等の行事を通して、まず、町立図書館に行ってみようと思ってもらえるような仕組みづくりをしています。

今後は、行事を通して町立図書館へ来てくれた子どもたちが、その後も継続して町立図書館に通い、本を読むように行事と読書、図書館利用をつなげるため、それぞれの行事に合わせた特集棚を設置して本を手に取りやすい環境を作ったり、行事の中で関連した本の紹介をしたりすることで、自分が興味のある分野の本を手にとってもらえるようにしていく必要があります。

【町立図書館での主な取組】

○ヤングアダルトへの啓発

町立図書館内に設置しているヤングアダルトコーナーを図書館だよりや館内掲示等で広報し、利用につなげます。

また、ヤングアダルト向けにおすすめ本や新着本リストを作成し、町内小・中学校、福崎高等学校に掲示してもらうことで、少しでも町立図書館やヤングアダルトコーナーに興味を持ってもらえるようにします。

○ブックスタート事業や図書館定例行事での読書啓発

現在行っているブックスタート事業や図書館定例行事（図書館応援隊と連携した「えほんのじかん」や「おはなし会」）を継続し、読み聞かせの大切さを保護者に伝えたり、おはなしのおもしろさ、読書の楽しさを子どもたちに伝えることで読書啓発を

行います。

○「読書おもいで帳」の導入による読書推進

町立図書館で借りた本を、「読書おもいで帳」に印刷して残すことで、これまでの自分の読書記録が可視化され、読んだ本をふり返り、もっと読書をしようという意欲につながっていきます。「読書おもいで帳」は、銀行通帳のように見えて遊び感覚で読書記録を残すことができ、読書が楽しいと感じられるようになることが期待されます。

○学校との連携強化

テーマごとの絵本リストを作成したり、改めて団体貸出の利用方法をまとめたリーフレットを配布することで、町内小・中学校・幼稚園・こども園で団体貸出が利用しやすいように工夫します。

また、図書館応援隊と連携して、学校訪問おはなし会の実施や、図書館見学の受入れ、小学校中学年以上を対象に、図書館の利用方法や図書館の本を使った調べ学習の仕方等を説明する図書館レファレンス見学の受入れを積極的に行います。

○小学校中学年への取組の強化

小学校中学年を対象に図書館見学を実施したり、図書館利用や図書館の本に関するクイズを館内に掲示することで町立図書館利用を促進し、本に興味を持ってもらえる取組を強化します。

○フクちゃん読書の日・サキちゃん読書の日

毎月 29 日のフクちゃん読書の日や3月9日のサキちゃん読書の日に合わせて行事を実施し、フクちゃん読書の日・サキちゃん読書の日

の広報に努めます。フクちゃん読書の日に合わせて実施している「図書館マイスター講座」を引き続き実施することで、町立図書館の利用方法や本の探し方等を知ってもらい、自分で本を見つける楽しさを感じてもらうことで町立図書館の利用、また、読書推進につなげます。

4 図書館応援隊による推進

【現状と課題】

多岐にわたる図書館応援隊活動の中で、特に子どもの読書推進に関わった活動をしているえほんのじかん、おはなしのとびら、布絵本グループ、かたりベグループ、紙芝居グループの活動が継続して行われています。

ただ、多くのボランティア団体と同様に図書館応援隊でも会員の確保・拡大が進まず、積極的な活動が困難になっているグループもあり、会員の確保が大きな課題となってい

ます。

【図書館応援隊の主な取組】

○グループごとの読書推進活動

①えほんのじかん

活動場所：図書館・学校・地域

対 象：赤ちゃんから

赤ちゃんのころから絵本に親しみ、わらべうたを楽しむことができるえほんのじかんを月1回町立図書館で開催しています。

保護者も一緒に絵本の読み聞かせやわらべうたを楽しみ、絵本の選び方や読み聞かせの方法を知ってもらうことで、家庭での読み聞かせにつなげています。

また、町内の小学校や幼稚園、こども園でも絵本の読み聞かせを行い、町立図書館に来る習慣のない子どもたちにも絵本の楽しさを伝えています。

②おはなしのとびら

活動場所：図書館・学校・幼稚園・こども園・地域

対 象：4歳ぐらいから小学生

ストーリーテリングや絵本の読み聞かせ、詩の朗読、ブックトーク等を通して言葉の楽しさを覚え、すぐれた絵本を届けることで、子どもたちのものを見る目を養います。グループのメンバーは、毎月1回おはなし勉強会を開き、絵本やストーリーテリングについての知識を増やすことで、よりよいおはなしを子どもたちに届けられるよう研鑽を積んでいます。

町内の各小学校や幼稚園、こども園を訪問、また、町立図書館で月1回、絵本の読み聞かせやストーリーテリングを行うおはなし会を開催しています。

普段、絵本に触れる時間が少ない子どもたちにも絵本に親しむ時間を持たせ、改めて絵本の楽しさを認識することで本好きの子どもたちを増やすよう取り組んでいます。

③布絵本グループ

活動場所：図書館

対 象：赤ちゃんから

手作りの、手でさわって楽しめる布絵本を通して、絵本の楽しさを障害のある子にも、ない子にも伝えています。また、町立図書館内に50音のひらがなタペストリーや食育栄養素タペストリーを展示し、子どもたち自らが興味を示して楽しみながらいろいろなことが覚えられる仕組みを作っています。

④かたりべグループ

活動場所：図書館・学校・地域

対象：4歳ぐらいから

町内の小学校や町立図書館で、昔話や福崎町に伝わる民話等を語り、子どもの興味の幅を広げています。また、福崎町の民話から自分たちの町に伝わってきた話に興味を持ってもらい、もっと自分の住んでいるところのことを知りたい、行事のことを知りたいという調べ学習へのきっかけを作り、そこから町立図書館等の本の利用につなげるよう取り組んでいます。

⑤紙芝居グループ

活動場所：図書館・学校・幼稚園・こども園・地域

対象：赤ちゃんから

福崎町の民話を、絵を見ながら楽しめる紙芝居にして町内の小学校や町立図書館等で上演し、子どもたちに自分たちの住んでいる町について楽しみながら知ってもらう取り組みを行っています。

○会員確保・拡大への取組

図書館応援隊フェスタ等の行事や町立図書館内の掲示、図書館応援隊だより、図書館だよりライブラリーを通して図書館応援隊各グループの活動日や活動内容等を積極的に広報し、会員確保に努めます。

○町立図書館との連携

町内の小・中学校や幼稚園、こども園から町立図書館見学に来られる際には、おはなし会を開き、町立図書館の利用方法や本のある場所等を知ってもらうことに加え、絵本の楽しさも伝えます。

また、おはなし会で語ったおはなしや読み聞かせに使った絵本から、他のおはなしや絵本、知識の本にも興味を持ってもらえるよう、ブックトークも行い、町立図書館にある関連本を紹介して読書への興味を促します。

5 子どもの読書活動の啓発・広報

【現状と課題】

平成27年11月から始まった播磨圏域連携中枢都市圏相互利用により、全体での貸出点数が増加している中で、高校生の年齢層では減少傾向にあることから、高校生への読書推進や図書館利用についての広報が十分ではないと考えられます。

【啓発・広報の主な取組】

○学校通信等を通しての広報・行事を通しての広報

町内小・中学校や幼児園、こども園では、学校通信、園だより等を通して、また、町立図書館や図書館応援隊は、図書館だよりライブラリーや応援隊だよりを通して、本や行事の紹介、また、読書の大切さや楽しさを引き続き伝えていきます。

毎月29日のフクちゃん読書の日、3月9日のサキちゃん読書の日、町立図書館内のポスターや小・中学校、幼児園、こども園の学校通信、園だよりを通して広報し、町立図書館の行事をそれらの日に合わせて行い、読書の日を設けていること、また、読書の日には家読をしたり、ノーテレビ・ノーゲームデーにして読書の時間を確保する各家庭での取組状況の紹介し、読書の日のごし方を提案していきます。

また、町立図書館に来たことがない子どもたちに、町立図書館に来館し、楽しい所とじてもらえるよう、図書館おばけやしきや工作教室等で来館のきっかけをつくり、図書館マイスター講座等を実施して図書館の利用方法を覚える機会を設けます。

○インターネットの活用

町立図書館では、行事の案内や図書館だよりライブラリーの閲覧、webOPACの読書マラソン機能を活用した読書マラソン大会を開催、ホームページ上に読書記録を残すことができる本棚機能の利用等、インターネット上での読書推進を図ります。

○YA（ヤングアダルト）世代向けの広報

町立図書館では、YAコーナーがあること、YA世代向けの新着本の紹介、YA世代に人気の本（ベストリーダー）を紹介するYA向けの図書館だよりを発行、町内各中学校や福崎高等学校に掲示し、少しでも読書に興味を持ち、町立図書館や学校図書室利用のきっかけづくりを行います。

☆福崎町の特徴ある取組の一例



○読書ノート

読書ノートには、おすすめ本のリスト（自分が読んだ本に☑を入れていきます。）やこつこつどくしょのページ（図書館で借りた本の数のスタンプを集め、目標達成したら記念品がもらえます。）があります。楽しみながら読書習慣を身に付けてもらうためのしかけの一つです。



○図書館応援隊

福崎町立図書館を拠点に活動しているボランティア団体です。

さまざまな活動グループで、子どもの読書活動を支援しています。

また、布絵本グループ作成の布絵本やタペストリーによって、図書館を楽しい場所、行きたい場所と感じてもらえるように活動しています。



○読書おもいで帳

自分で借りた本の記録を銀行通帳のように残すことができます。読書の記録をあそび感覚で楽しみながら残せるため、子どもたちの好奇心を刺激して、読書意欲につなげます。

子どもたちの読書おもいで帳に読んだ本がたくさん記されるよう、取り組んでいきます。

福崎町子どもの読書活動推進計画（第2次）策定委員会設置要綱

（設置）

第1条 「子どもの読書活動の推進に関する法律（平成13年法律第154号）」第9条第2項に規定する市町村子ども読書活動推進計画の策定について審議するため、福崎町子どもの読書活動推進計画（第2次）策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（所掌事務）

第2条 委員会は、次の事項について審議する。

- (1) 推進計画の策定方針に関する事項
- (2) 推進のための取組に関する事項
- (3) その他委員会が必要と認める事項

（組織）

第3条 委員会は、次に掲げる者の中から教育委員会が指名する者をもって構成し、教育長が委嘱する。

- (1) 社会教育委員
- (2) 図書館応援隊（住民代表）
- (3) 学校教育関係者
- (4) 幼児園・こども園関係者
- (5) 学識経験者

（委員長）

第4条 委員会には、委員長および副委員長を置く。

- 2 委員長は、社会教育委員があたり、副委員長は図書館応援隊とする。
- 3 委員長は、委員会を代表し、会務を主宰する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐するとともに、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

（任期）

第5条 委員の任期は、第2条に規定する事務が終了するまでとする。

（会議）

第6条 委員会は、必要に応じ委員長が招集し、委員長が議長となる。

(意見の聴取)

第7条 委員長は、必要に応じて関係者の出席を求め、意見を聞くことができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、福崎町立図書館において処理する。

(補則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、委員長が定める。

附則

この要綱は、公布の日から施行し、計画の策定をもってその効力を失う。

福崎町子どもの読書活動推進計画（第2次）策定委員会 委員名簿

氏 名	役 職 等	備 考
たなか よしみ 田中 純美	社会教育委員	
おくだ なおこ 奥田 菜穂子	図書館応援隊	
なかまさ たつや 中正 達也	高岡小学校 校長	
うらかみ はつみ 浦上 初美	田原幼児園 園長	
にしもと てつ 西本 哲	神戸医療未来大学 図書・情報センター長	

◆福崎町子どもの読書活動推進計画策定のための実態調査アンケート結果◆

福崎町子どもの読書活動推進計画策定にあたり、読書状況を把握するためのアンケートをおこないました。

実施時期：令和4年5～6月

アンケート項目：低学年（小学1・2年生）、中学年（小学3・4年生）、高学年（小学5・6年生）、
中学生、高校生、就学前の子どもを持つ保護者の6分類としました。

実施方法：低学年・中学年・高学年・中学生・高校生については、学級担任による聞き取りまたは
各自が記入する形式で実施しました。

就学前の子どもを持つ保護者については、町内幼児園・こども園に通う園児の
保護者に各園を通して用紙を配布し、記入後各園に提出していただきました。

調査対象者		対象者数（人）	実施人数（人）	
小学校	低学年	田原小学校	157	154
		八千種小学校	33	32
		福崎小学校	125	123
		高岡小学校	13	13
	合計		328	322
	中学年	田原小学校	155	150
		八千種小学校	47	46
		福崎小学校	137	131
		高岡小学校	14	14
	合計		353	341
	高学年	田原小学校	160	155
		八千種小学校	45	44
		福崎小学校	148	141
高岡小学校		18	18	
合計		371	358	
中学校	東中学校	281	272	
	西中学校	246	227	
	合計	527	499	
福崎高等学校(1、2年生)		287	282	
就学前の子どもを持つ保護者		459	389	
合計		2,325	2,191	

集計欄

① 読書が好きですか。（全員）	人	%
はい	1404	77.9
いいえ	398	22.1
② 1か月に何冊くらい本を読みますか。（小学校低学年以外）		
10冊以上	297	20.1
5～9冊	302	20.4
1～4冊	684	46.3
読まない	194	13.1

小学校低学年

	H24 (2012)		H29 (2017)		R4 (2022)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
① 本をよむのがすきですか。						
はい	335	87.2%	339	88.1%	290	89.8%
いいえ	49	12.8%	46	11.9%	33	10.2%
② がっこうのとしょしつに行くのがすきですか。						
はい	300	78.1%	341	88.6%	290	90.1%
いいえ	73	19.0%	44	11.4%	32	9.9%
③ がっこういがい ¹ で本をよみますか。						
はい	313	81.5%	325	84.4%	253	78.8%
いいえ	71	18.5%	60	15.6%	68	21.2%
④ おうちのひとに、よく本をよんでもらいますか。						
はい	113	29.4%	114	29.6%	126	39.1%
いいえ	270	70.3%	271	70.4%	196	60.9%
⑤ 町のとしょかんで本をかりたことがありますか。						
はい	317	82.6%	325	84.4%	207	64.3%
いいえ	66	17.2%	60	15.6%	115	35.7%
⑥ ゲームであそぶのと、おうちの人に本をよんでもらうのはどちらのほうがすきですか。						
ゲーム	128	33.3%	137	35.6%	111	34.6%
本をよんでもらう	48	12.5%	62	16.1%	47	14.6%
どちらもすき	189	49.3%	166	43.1%	151	47.0%
どちらもきらい	19	4.9%	20	5.2%	12	3.7%
⑦ 友だちと、よんだ本のことではなしをしますか。						
はい	199	51.8%	177	46.0%	134	40.4%
いいえ	182	47.4%	208	54.0%	198	59.6%

小学校中学年

	H24 (2012)		H29 (2017)		R4 (2022)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
① 読書がすきですか。						
はい	315	84.5%	295	83.6%	293	85.9%
いいえ	56	15.0%	58	16.4%	48	14.1%
② 1か月に何さつくらい本を読みますか。						
10さつ以上	152	40.8%	142	40.2%	131	38.4%
5~9さつ	102	27.3%	99	28.0%	111	32.6%
1~4さつ	84	22.5%	92	26.1%	86	25.2%
読まない	29	7.8%	20	5.7%	13	3.8%
③ 1週間のうち何日くらい本を読みますか。						
ほとんど毎日	108	29.1%	108	30.6%	116	34.1%
学校のある日はほとんど	74	19.8%	84	23.8%	100	29.4%
学校のある日は2~3日	109	29.2%	113	32.0%	77	22.6%
休日は毎日	38	10.2%	16	4.5%	33	9.7%
読まない	29	7.8%	32	9.1%	14	4.1%
④ いちばんよく読むのはどんな本ですか。						
絵本	19	4.9%	32	9.1%	36	9.4%
物語	118	30.3%	123	34.8%	90	23.4%
雑誌	20	5.1%	22	6.2%	8	2.1%
マンガ	182	46.7%	139	39.4%	138	35.8%
ゲームの攻略本	27	6.9%	19	5.4%	19	4.9%
その他	24	6.1%	18	5.1%	94	24.4%
⑤ 1週間に何回くらい学校の図書室に行きますか。						
5回以上	61	16.5%	56	15.9%	78	22.9%
3~4回	126	33.8%	127	36.0%	92	27.1%
1~2回	143	38.3%	140	39.7%	145	42.6%
行かない	34	9.1%	30	8.5%	25	7.4%

		H24 (2012)		H29 (2017)		R4 (2022)	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
⑥	学校以外の図書館に行きますか。						
	よく行く	68	18.3%	60	17.0%	63	18.6%
	ときどき行く	163	43.7%	168	47.6%	129	38.2%
	あまり行かない	109	29.2%	85	24.1%	85	25.1%
	行かない	28	7.5%	40	11.3%	61	18.0%
⑦	家の人は、ふだんから本を読んでいますか。						
	よく読んでいる	116	31.2%	86	24.4%	73	21.4%
	ときどき読んでいる	129	34.6%	99	28.0%	103	30.2%
	あまり読んでいない	58	15.5%	80	22.7%	82	24.0%
	わからない	68	18.2%	88	24.9%	83	24.3%
⑧	家の人によく本を読んでもらいましたか。						
	小さい頃はよく読んでもらった	202	54.2%	198	56.1%	222	55.9%
	今も読んでもらっている	7	1.9%	13	3.7%	15	3.8%
	たまたま読んでもらった	40	10.7%	25	7.1%	24	6.0%
	今もたまたま読んでもらっている	17	4.6%	19	5.4%	14	3.5%
	読んでもらったことはない	36	9.7%	28	7.9%	16	4.0%
	おぼえていない	71	18.9%	70	19.8%	106	26.7%
⑨	家にいる時は、何をして過ごすことが多いですか。						
	読書	49	11.6%	81	22.9%	49	12.1%
	ゲーム	105	24.8%	93	26.3%	121	29.9%
	携帯電話やインターネット	27	6.4%	9	2.5%	14	3.5%
	外で遊ぶ	99	23.4%	86	24.4%	77	19.0%
	テレビを見る	110	26.0%	67	19.0%	56	13.8%
	その他	33	7.8%	17	4.8%	88	21.7%
⑩	友だちと本のことで話したりすることはありますか。						
	よくする	37	10.0%	39	11.0%	34	10.0%
	ときどきする	121	32.4%	116	32.9%	119	34.9%
	あまりしない	110	29.5%	93	26.3%	103	30.2%
	しない	101	27.1%	105	29.7%	85	24.9%

小学校高学年

		H24 (2012)		H29 (2017)		R4 (2022)	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
①	読書が好きですか。						
	はい	328	83.9%	295	86.0%	285	79.6%
	いいえ	63	16.1%	48	14.0%	73	20.4%
②	1か月に何冊くらい本を読みますか。						
	10冊以上	125	32.0%	114	33.2%	103	28.9%
	5~9冊	111	28.4%	95	27.7%	102	28.7%
	1~4冊	144	36.8%	113	32.9%	130	36.5%
	読まない	10	2.6%	21	6.1%	21	5.9%
③	1日あたりの読書時間はどれくらいですか。						
	10分以内	68	17.4%	59	17.2%	84	23.6%
	20分以内	132	33.8%	88	25.7%	87	24.4%
	30分以内	83	21.2%	76	22.2%	86	24.2%
	1時間以内	52	13.3%	55	16.0%	40	11.2%
	1時間以上	32	8.2%	42	12.2%	36	10.1%
	読まない	18	4.6%	23	6.7%	23	6.5%
④	1週間のうち何日くらい本を読みますか。						
	ほとんど毎日	77	19.7%	110	32.1%	82	23.0%
	学校のある日はほとんど	97	24.8%	106	30.9%	81	22.8%
	学校のある日は2~3日	135	34.5%	85	24.8%	133	37.4%
	休日は毎日	53	13.6%	17	5.0%	33	9.3%
	読まない	21	5.4%	25	7.3%	27	7.6%

		H24 (2012)		H29 (2017)		R4 (2022)	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
⑤	いちばんよく読むのはどんな本ですか。						
	絵本	6	1.4%	8	2.3%	11	3.1%
	物語	95	22.7%	118	34.4%	89	24.8%
	雑誌	49	11.7%	9	2.6%	6	1.7%
	マンガ	223	53.2%	178	51.9%	198	55.2%
	ゲームの攻略本	16	3.8%	14	4.1%	10	2.8%
	その他	30	7.2%	16	4.7%	45	12.5%
⑥	1週間に何回くらい学校の図書室に行きますか。	人数	割合	人数	割合	人数	割合
	5回以上	31	7.9%	44	12.8%	26	7.2%
	3～4回	78	20.0%	115	33.5%	71	19.8%
	1～2回	234	59.8%	141	41.1%	205	57.1%
	行かない	46	11.8%	43	12.5%	57	15.9%
⑦	学校以外の図書館に行きますか。	人数	割合	人数	割合	人数	割合
	よく行く	37	9.5%	37	10.8%	28	7.8%
	ときどき行く	184	47.0%	134	39.1%	114	31.8%
	あまり行かない	111	28.4%	107	31.2%	136	37.9%
	行かない	55	14.1%	65	19.0%	81	22.6%
⑧	家の人は、ふだんから本を読んでいますか。	人数	割合	人数	割合	人数	割合
	よく読んでいる	91	23.3%	65	19.0%	76	21.3%
	時々読んでいる	160	40.9%	107	31.2%	93	26.1%
	あまり読んでいない	80	20.5%	70	20.4%	108	30.3%
	わからない	54	13.8%	101	29.4%	80	22.4%
⑨	小さいころに、家の人によく本を読んでもらいましたか。	人数	割合	人数	割合	人数	割合
	よく読んでもらった	156	39.9%	132	38.5%	169	47.2%
	たまに読んでもらった	124	31.7%	97	28.3%	85	23.7%
	読んでもらったことはない	18	4.6%	11	3.2%	12	3.4%
	おぼえていない	92	23.5%	103	30.0%	92	25.7%
⑩	家にいる時は、何をしておすごすことが多いですか。	人数	割合	人数	割合	人数	割合
	読書	45	10.7%	54	15.7%	19	4.8%
	ゲーム	105	24.9%	107	31.2%	133	33.4%
	携帯電話やインターネット	38	9.0%	40	11.7%	65	16.3%
	外で遊ぶ	77	18.2%	50	14.6%	69	17.3%
	テレビを見る	134	31.8%	69	20.1%	82	20.6%
	その他	23	5.4%	23	6.7%	30	7.5%
⑪	友だちと本のことで話したりすることはありますか。	人数	割合	人数	割合	人数	割合
	よくする	24	6.2%	23	6.7%	30	8.4%
	ときどきする	153	39.1%	103	30.0%	110	30.7%
	あまりしない	124	31.7%	92	26.8%	140	39.1%
	しない	85	21.7%	125	36.4%	78	21.8%

中学生

		H24 (2012)		H29 (2017)		R4 (2022)	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
①	読書が好きですか。						
	はい	410	76.2%	434	77.9%	343	68.9%
	いいえ	114	21.2%	123	22.1%	155	31.1%
②	1か月に何冊くらい本を読みますか。	人数	割合	人数	割合	人数	割合
	10冊以上	39	7.3%	51	9.2%	47	9.4%
	5～9冊	104	19.3%	112	20.1%	66	13.3%
	1～4冊	345	64.1%	356	63.9%	327	65.7%
	読まない	49	9.1%	38	6.8%	58	11.6%
③	1日あたりの読書時間はどれくらいですか。	人数	割合	人数	割合	人数	割合
	10分以内	78	14.5%	65	11.7%	94	18.9%
	20分以内	153	28.4%	154	27.6%	152	30.6%
	30分以内	115	21.4%	157	28.2%	109	21.9%
	1時間以内	100	18.6%	88	15.8%	64	12.9%
	1時間以上	57	10.6%	58	10.4%	27	5.4%
	読まない	33	6.1%	35	6.3%	51	10.3%

		H24 (2012)		H29 (2017)		R4 (2022)	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
④	1週間のうち何日くらい本を読みますか。						
	毎日	84	15.6%	88	15.8%	64	12.8%
	週に5～6日	181	33.7%	194	34.8%	153	30.7%
	週に3～4日	137	25.5%	134	24.1%	138	27.7%
	週に1～2日	57	10.6%	70	12.6%	66	13.2%
	ほとんど読まない 読まない	47 26	8.7% 4.8%	45 26	8.1% 4.7%	40 38	8.0% 7.6%
⑤	いちばんよく読むのはどんな本ですか。						
	絵本	5	0.9%	6	1.1%	6	1.2%
	物語	262	49.1%	244	43.8%	250	48.1%
	雑誌	87	16.3%	78	14.0%	17	3.3%
	マンガやゲームの攻略本	108	20.2%	140	25.1%	167	32.1%
	ノンフィクション その他	27 45	5.1% 8.4%	48 41	8.6% 7.4%	40 40	7.7% 7.7%
⑥	1週間に何回くらい学校の図書室に行きますか。						
	5回以上	9	1.7%	5	0.9%	5	1.0%
	3～4回	25	4.6%	26	4.7%	5	1.0%
	1～2回	109	20.3%	73	13.1%	69	13.8%
	行かない	391	72.7%	453	81.3%	420	84.2%
⑦	学校以外の図書館を利用することがありますか。						
	よく利用する	29	5.4%	53	9.5%	31	6.1%
	時々利用する	150	27.9%	209	37.5%	113	22.2%
	あまり利用しない	136	25.3%	131	23.5%	133	26.1%
	ほとんど、または全く利用しない	219	40.7%	164	29.4%	232	45.6%
⑧	家の人は、ふだんから本を読んでいますか。						
	よく読んでいる	107	19.9%	62	11.1%	71	14.2%
	時々読んでいる	139	25.8%	152	27.3%	121	24.2%
	あまり読んでいない	177	32.9%	212	38.1%	191	38.2%
	わからない	115	21.4%	131	23.5%	117	23.4%
⑨	小さいころに、家の人によく本を読んでもらいましたか。						
	よく読んでもらった	194	36.0%	226	40.6%	205	41.2%
	たまたま読んでもらった	151	28.1%	153	27.5%	134	27.0%
	読んでもらったことはない	16	3.0%	33	5.9%	20	4.0%
	おぼえていない	176	32.7%	145	26.0%	138	27.8%
⑩	電子書籍を使ったことがありますか。						
	よく使う			62	11.1%	60	12.1%
	たまに使う			141	25.3%	117	23.5%
	つかわない			251	45.1%	212	42.7%
	電子書籍を知らない			103	18.5%	108	21.7%
⑪	家にいる時は、何をしておすごすことが多いですか。						
	読書	61	11.1%	63	9.6%	24	3.9%
	ゲーム	101	18.3%	128	19.5%	140	23.0%
	携帯電話やインターネット	118	21.4%	206	31.5%	230	37.8%
	外で遊ぶ	35	6.3%	43	6.6%	64	10.5%
	テレビを見る	202	36.6%	177	27.0%	106	17.4%
	その他	35	6.3%	38	5.8%	45	7.4%

高校生

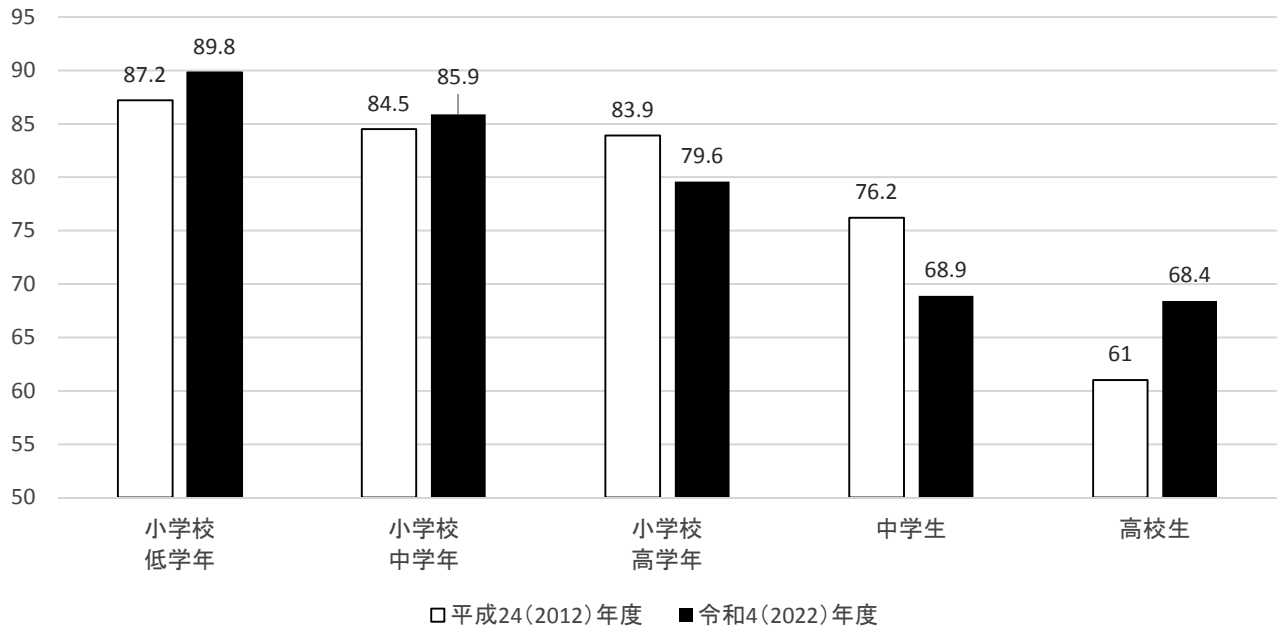
		H24 (2012)		H29 (2017)		R4 (2022)	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
①	読書が好きですか。						
	はい	348	61.0%	349	62.0%	193	68.4%
	いいえ	220	38.5%	214	38.0%	89	31.6%
②	1か月に何冊くらい本を読みますか。						
	10冊以上	23	4.0%	22	3.9%	16	5.7%
	5～9冊	41	7.2%	33	5.9%	23	8.2%
	1～4冊	243	42.5%	233	41.4%	141	50.0%
	読まない	261	45.8%	275	48.8%	102	36.2%

		H24 (2012)		H29 (2017)		R4 (2022)	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
③	1日あたりの読書時間はどれくらいですか。						
	10分以内	65	11.3%	50	8.9%	41	14.5%
	20分以内	31	5.4%	43	7.6%	45	16.0%
	30分以内	67	11.7%	53	9.4%	41	14.5%
	1時間以内	77	13.5%	80	14.2%	29	10.3%
	1時間以上	62	10.8%	43	7.6%	22	7.8%
	読まない	264	46.3%	294	52.2%	104	36.9%
④	1週間のうち何日くらい本を読みますか。	人数	割合	人数	割合	人数	割合
	毎日	37	6.5%	34	6.0%	18	6.4%
	週に5～6日	22	3.8%	22	3.9%	21	7.4%
	週に3～4日	62	10.9%	58	10.3%	41	14.5%
	週に1～2日	143	25.1%	128	22.7%	75	26.6%
	ほとんど読まない	305	53.5%	321	57.0%	127	45.0%
⑤	いちばんよく読むのはどんな本ですか。	人数	割合	人数	割合	人数	割合
	小説	199	34.7%	251	44.6%	143	48.6%
	雑誌	191	33.3%	137	24.3%	25	8.5%
	マンガやゲームの攻略本	146	25.5%	154	27.4%	109	37.1%
	ノンフィクション	11	1.9%	11	2.0%	6	2.0%
	その他	26	4.6%	10	1.8%	11	3.7%
⑥	1週間に何回くらい学校の図書室に行きますか。	人数	割合	人数	割合	人数	割合
	5回以上	17	3.0%	8	1.4%	0	0.0%
	3～4回	10	1.7%	4	0.7%	0	0.0%
	1～2回	36	6.3%	21	3.7%	6	2.1%
	行かない	506	88.8%	530	94.1%	276	97.9%
⑦	学校以外の図書館を利用することがありますか。	人数	割合	人数	割合	人数	割合
	よく利用する	34	6.0%	25	4.4%	9	3.2%
	時々利用する	110	19.3%	126	22.4%	38	13.5%
	あまり利用しない	112	19.6%	88	15.6%	39	13.8%
	ほとんど、または全く利用しない	314	55.1%	324	57.5%	196	69.5%
⑧	家の人は、ふだんから本を読んでいますか。	人数	割合	人数	割合	人数	割合
	よく読んでいる	99	17.3%	98	17.4%	39	13.9%
	時々読んでいる	153	26.8%	117	20.8%	82	29.2%
	あまり読んでいない	183	32.1%	207	36.8%	100	35.6%
	わからない	132	23.1%	141	25.0%	60	21.4%
⑨	小さいころに、家の人によく本を読んでもらいましたか。	人数	割合	人数	割合	人数	割合
	よく読んでもらった	206	36.1%	229	40.7%	140	49.6%
	たまたま読んでもらった	180	31.6%	179	31.8%	81	28.7%
	読んでもらったことはない	22	3.8%	15	2.7%	6	2.1%
	おぼえていない	160	28.0%	140	24.9%	55	19.5%
⑩	家にいる時は、何をして過ごすことが多いですか。	人数	割合	人数	割合	人数	割合
	読書	30	5.2%	27	4.8%	9	2.9%
	ゲーム	64	11.1%	77	13.7%	60	19.1%
	携帯電話やインターネット	219	37.8%	321	57.0%	202	64.3%
	テレビを見る	201	34.7%	92	16.3%	33	10.5%
	その他	65	11.2%	46	8.2%	10	3.2%
⑪	電子書籍を使ったことがありますか。	調査項目なし		人数	割合	人数	割合
	よく使う			80	14.2%	76	27.0%
	たまたま使う			164	29.1%	109	38.8%
	つかわない			277	49.2%	85	30.2%
	電子書籍を知らない			42	7.5%	11	3.9%
⑫	どこにお住まいですか。	人数	割合	人数	割合	人数	割合
	福崎町	118	20.7%	85	15.1%	47	16.7%
	福崎町以外	452	79.3%	478	84.9%	234	83.3%
⑬	⑫で「福崎町以外」と答えた方のみ回答してください。						
	「福崎町在学」の方も福崎町立図書館で本を借りられることを知っていますか。	人数	割合	人数	割合	人数	割合
	はい	100	22.1%	132	23.4%	63	26.9%
	いいえ	352	77.9%	346	61.5%	171	73.1%

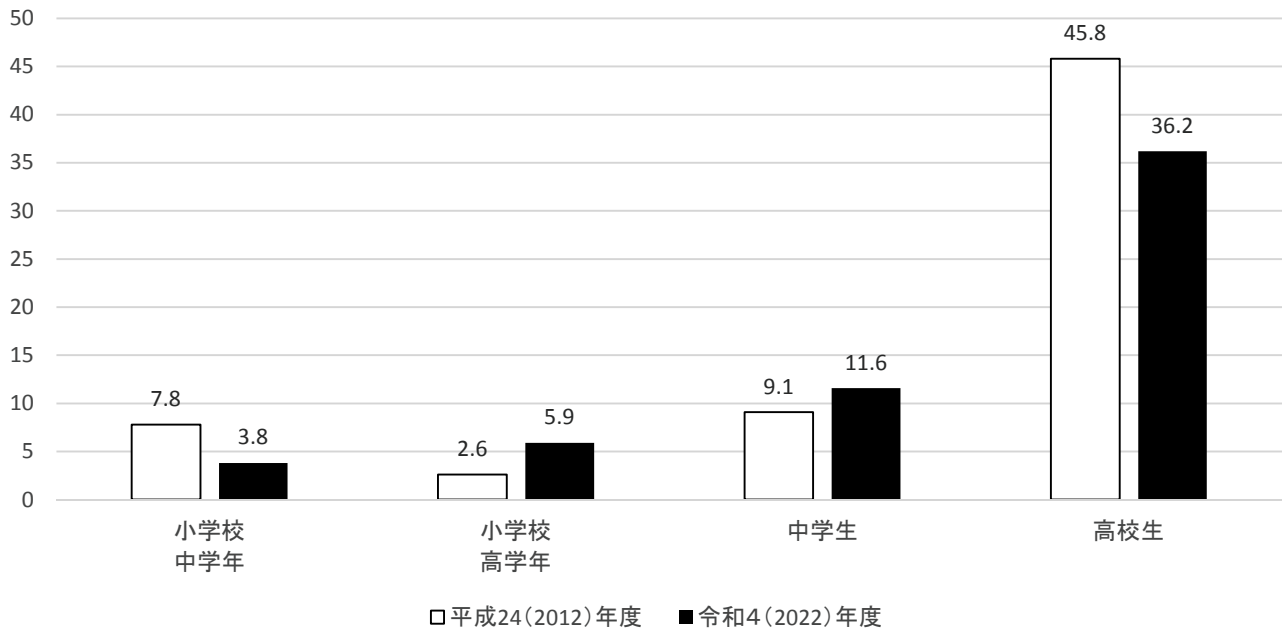
就学前の子どもを持つ保護者

	H24 (2012)		H29 (2017)		R4 (2022)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
① 子どもの読解力、想像力、表現力を育て、感性を磨くうえで読書は重要だと考えますか。						
とても重要だと思う	248	80.9%	53	70.7%	278	71.8%
まあまあ重要だと思う	49	16.1%	21	28.0%	105	27.1%
それほど重要とは思わない	2	0.7%	0	0.0%	1	0.3%
わからない	2	0.7%	1	1.3%	3	0.8%
② あなた（保護者自身）は日ごろから本を読みますか。						
よく読む	41	13.4%	6	8.0%	22	5.7%
時々読む	136	44.3%	31	41.3%	139	36.2%
あまり読まない	79	25.7%	20	26.7%	129	33.6%
ほとんど、または全く読まない	50	16.3%	18	24.0%	94	24.5%
③ お子さまの読書のための本は、どのようにして用意されることが多いですか。						
保育園や幼稚園で借りる	71	15.6%	3	4.0%	76	12.3%
保育所や幼稚園から帰ってくる定期購読の本を読ませる	179	39.3%	27	36.0%	218	35.3%
自分で買う	70	15.4%	9	12.0%	153	24.8%
公共図書館で借りる	122	26.8%	35	46.7%	137	22.2%
人から譲ってもらう	13	2.9%	1	1.3%	33	5.3%
本は用意しない	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%
④ お子さまによく本の読み聞かせをしますか。						
よくする	83	27.0%	26	34.7%	110	28.6%
時々する	173	56.4%	36	48.0%	188	49.0%
あまりしない	41	13.4%	11	14.7%	72	18.8%
ほとんど、または全くしない	9	2.9%	2	2.7%	14	3.6%
⑤ 問④で『ほとんど、または全くない』と回答された方のみお答えください。 本の読み聞かせをしない理由は何ですか。		%				
時間がない	4	44.4%	2	2.7%	12	54.5%
子どもが自分で読める	4	44.4%	0	0.0%	5	22.7%
本を読むのがかた	0	0%	0	0.0%	2	9.1%
本を読む必要がないと思う	1	11.2%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0%	0	0.0%	3	13.6%
⑥ お子さまに本を読んでほしいとせがまれることがありますか。						
よくある	134	43.7%	33	44.0%	146	37.9%
時々ある	147	47.9%	34	45.3%	180	46.8%
あまりない	17	5.5%	8	10.7%	39	10.1%
ほとんど、または全くない	8	2.6%	0	0.0%	20	5.2%
⑦ お子さまは家にいる時に、何をして過ごすことが多いですか？						
読書	50	10.9%	9	12.0%	43	6.0%
ゲーム	56	12.3%	5	6.7%	65	9.0%
携帯電話やインターネット	7	1.5%	4	5.3%	76	10.5%
外で遊ぶ	109	23.9%	21	28.0%	225	31.2%
テレビを見る	148	32.4%	21	28.0%	200	27.7%
その他	87	19.0%	15	20.0%	112	15.5%
⑧ おはなし会や絵本の読み聞かせ等のオリエンテーションに興味がありますか？						
あればぜひ参加したい	63	20.6%	15	20.0%	95	25.1%
あるが時間的な理由で参加できない	204	66.5%	47	62.7%	212	55.9%
興味はない	35	11.5%	13	17.3%	72	19.0%
⑨ あなたは子どもを育てる際に、子どもの読書について、どのようなことをしてもらいましたか？						
よくしてもらっていた	70	22.8%	22	29.3%	92	23.9%
してもらったこともある	126	41.1%	20	26.7%	156	40.5%
してもらっていない	30	9.8%	12	16.0%	42	10.9%
覚えていない	78	25.5%	21	28.0%	95	24.7%

グラフ1
読書好きの割合



グラフ2
1か月の不読率



福崎町子どもの読書活動推進計画（第2次）

令和5年3月発行

編集・発行 福崎町立図書館

〒679-2215 兵庫県神崎郡福崎町西治 360 番地 1

TEL 0790-22-3790